

# 地域社会と共に歩み

## 地域住民との良好な関係の構築

### 各種活動で地域に貢献します

大林道路は、良き企業市民として社会文化の発展に寄与していきます。

#### ●中国支店

##### 山陽自動車道 岡山管内舗装補修工事

平成23年7月5日に備前IC～和気IC間で単独の交通事故に伴う車両火災が発生しました。早期に交通開放するために、その事故復旧に協力しました。

各工区の施工前や施工中に、清掃活動を実施。特に、SA・PAの施工の際は、こまめに清掃を実施し、お客様に不快感を持たれないように配慮しました。



##### 平成23年度岡山東部保守工事

伐採・倒木処理などにより発生した雑木類をチップ化し有効利用すべく、農業用肥料転化を図っていたところ、カブトムシの幼虫を多数発見。地元小学校の要望もあり平成20年度より寄贈を開始しています。これらの活動により地域とのつながりが強化され保守工事に対する理解が深まることを期待しています。



#### ●九州支店

##### 北部アスファルト混合所にて職場体験学習

九州支店北部アスファルト混合所にて2日間、地元の基山町立基山中学校から職場体験学習として中学2年生の男子生徒2名を受け入れました。



#### ●大阪支店

##### 国道2号須磨鷹取電線共同溝工事

沿道で、雑草等が生い茂った植栽帯にて、剪定や清掃などを実施し、地域の美化に努めました。また、右折レーンにて、雑草が育ちすぎて交通の支障となる恐れがあるため、雑草の刈り込みを行いました。



#### ●四国支店

##### 平成24年度 天神地区外舗装工事

現場事務所周辺の県道を毎週月曜日に清掃し、地域の美化に協力しました。

川内小学校に通う学童の通学路にある横断歩道部で歩行者の誘導を行いました。



#### ●北信越支店

##### 伏木富山港(新湊地区)道路(東西線)舗装工事(その1)

地元、堀岡地区のイベント「堀岡ふれあい七夕・行灯カーニバル」に協賛し、売店コーナーとして出品。普段、関連事業の工事で協力していただいている地元の皆様とふれあい、コミュニケーションがとれました。



#### ●中部支店

##### 平成23年度紀勢線紀伊長島トンネル舗装工事

地域住民とのコミュニケーションとして、地元の水路清掃活動に参加しました。工場現場より重機を搬入し、地元の方々と協力して清掃を行いました。



#### ●本店

##### 交差点の交通誘導を実施

本店のある東京都墨田区内白鬚橋東詰交差点において、春・秋の交通安全運動の期間中、勤務開始時間まで歩行者の誘導を行いました。



#### ●北海道支店

##### 北区南地区道路維持除雪作業

交通渋滞緩和のため、夜間に重機を使い、約150kmの道路を朝の通勤ラッシュまでに間に合うように除雪しました。降雪のない日は、路面整正・拡幅・排雪運搬・凍結路面対策などの作業を実施する他、12月～3月まで24時間体制で市民のみならずから要望・苦情を受ける除雪センターも開設して対応しました。



#### ●東北支店

##### 大船渡管内道路復旧その2工事

工事区間の施工範囲外の箇所においても、積極的に草刈り・側溝清掃等を行い、道路の美化に努めました。



現場巡視中に、スリップによる車両の横転事故が発生したため、関係機関に連絡し、救援が到着するまで交通誘導を行って二次災害防止に努めました。



#### ●関東支店

##### 常磐自動車道谷和原管内舗装災害復旧工事

つくば市で、行われる「まつりつくば」に協賛し、祭りに参加しました。



##### 四ツ木地区安全施設改修他工事

現場に隣接している公共施設(側道、公園)を清掃。地域の方から度々声をかけていただいた際に、工事概要を説明することで工事への理解をいただくことができました。



## 地球環境への配慮

# 地球環境と調和した企業経営に取り組んでいます。

地球環境に対し、「大林道路はどのように貢献できるか」を常に考え、実践しています。

### 環境方針

私たちは地球や地域を汚染から守るため、環境経営に取り組めます

- 1 法律や倫理に対して誠実な対応を行い、社会から信頼される会社を目指します。
- 2 「もったいない」気持ちを大切に、資源の有効利用を目指します。
- 3 当社の環境技術を広め、住みたい街づくりに貢献します。

### 環境目標

原単位当たりのエネルギー使用量を前年度比1%以上削減する

監視測定結果

部門名	内訳(原油換算値)	2011年度	2012年度	構成比率	前年度比	寄与率	
オフィス部門	エネルギー使用量合計	—	851.8Kℓ	3.4%	—	2.7%	
	床面積1㎡あたりのエネルギー使用量	28.0ℓ /㎡	22.5ℓ /㎡	—	80.3%		
製造部門	エネルギー使用量合計	—	20,271.2Kℓ	81.6%	—	82.1%	
	製造1tあたりのエネルギー使用量	12.65ℓ /t	12.74ℓ /t	—	100.7%		
	再生骨材	エネルギー使用量合計	—	3,734.5Kℓ	15.0%	—	14.2%
		製造1tあたりのエネルギー使用量	2.77ℓ /t	2.61ℓ /t	—	94.2%	
部門計	エネルギー使用量合計	—	24,857.5Kℓ	100%	—	99.0% <sup>※1</sup>	

※1. オフィス部門と製造部門の異なる原単位の前年度比に構成比率を乗することにより算出した寄与率の合計で、2012年度は前年度比1%の削減となり、環境目標を達成しています。

### 環境対応への手段

2005年12月に全店で環境マネジメントシステム(ISO14001)を認証取得し運用しています。



現場審査状況



### 除染作業

福島第一原子力発電所の事故により放射線に汚染された地域環境を回復するための除染作業を行っています。



雨どい清掃

### 九州支店 熊本アスファルト混合所

#### リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 会長賞を受賞

九州支店 熊本アスファルト混合所は平成24年リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞を受賞しました。

本表彰は発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)に取り組んで顕著な実績をあげた個人・団体等を対象としており、この度の受賞は熊本アスファルト混合所における建設廃棄物の再資源化、太陽光発電設備・LED照明・脱臭装置等の省エネルギー設備の導入および再生加熱アスファルト混合物の啓発活動等が高く評価されたものです。



### 九州支店 大分アスファルト混合所

#### 再生固形燃料を使用した 燃焼装置の導入

大分アスファルト混合所のリサイクルプラントでは、廃プラスチックや紙・木材等を固めた再生固形燃料を使用して骨材を燃焼・乾燥させる装置を試験的に導入し、石油燃料の資源保護や燃費低減効果への貢献を行っています。今後は燃焼の際に発生した熱を他施設の熱源として再利用するなどの試みも含め、更なる環境保護に取り組んでいきます。



### E-con (イーコン)

E-conは、リサイクル材を主原料とした環境に優しい新しいコンクリート舗装工法の名称です。

E-conの主原料はグリーン調達品目にも指定されている高炉スラグ(水砕砂、粉末)とコンクリート廃材を粉砕して再生した骨材です。限りある資源の節約に寄与し、CO<sub>2</sub>排出量の削減にも有効である上、施工後に大気中のCO<sub>2</sub>を吸着して硬化が進むという特性があり、温室効果ガス対策に適したエコロジーな舗装です。

